

実施日：2021年12月5日（日）9:00～15:30

参加者：学生：8名

担当：杉山

■実施場所：春日山原始林・滝坂の道・芳山

■第8回 春日山の石仏（滝坂の道・芳山登山）

2021年11月28日（日）9:00～15:30

概要：春日山原始林の南端を走る滝坂の道（旧柳生街道）には、鎌倉・室町期の石仏が多く残る地域です。森の中に突如現れる石仏は、春日山が春日大社の神山であっただけでなく、仏教にとっても重要な場所であったことを証明しています。フィールドワークでは、滝坂の道沿いの石仏と国の史跡指定されている春日山石窟仏、春日山の奥に位置する芳山の石仏をめぐる。昔の人がなぜ、この場所で石仏を掘ろうと思ったのか、何を祈ったのかなどに心を巡らせながら歩きます。

9:00 春日大社国宝殿前集合

9:10 春日大社見学・参拝

10:00 滝坂の道 みみの体操

10:30 苔の観察

10:40 寝仏・夕日観音見学

11:00 朝日観音見学

12:00 首切り地蔵休憩舎/休憩

12:20 苔仏見学

12:30 誓多林町公衆トイレ・八柱神社にて昼食

13:00 芳山登山

13:30 芳山石仏到着・芳山南峰経由で下山

14:20 春日山石窟仏

15:30 解散

■概要報告

春日山原始林南端となる滝坂の道を歩き、石仏をめぐるフィールドワーク。今回も、「ESDと世界遺産」の受講者6名が参加した。ティーチャープログラムでの参加は1名。

ESDと世界遺産受講者6名のうち、5名が1回生で、春日大社を訪れたことがない学生ばかりであったため、簡単に春日大社の本殿を見学後、上の禰宜道から、高畑へ抜け滝坂の道へ。

滝坂の道の妙見宮への入り口の広場にて、音を感じる体験を実施したのち、滝坂の道を上がる。シカによる影響について確認したり、ムクロジの実の泡立ち体験などを行いつつ、寝仏、夕日観音、三体地蔵を確認。滝坂地蔵については、場所の確認は行ったものの、双眼鏡を使っても確認ができなかった。その後、朝日観音を確認したのち、首切り地蔵にて休憩。滝坂の道途中にある、通称苔仏を確認したのち、峠の茶屋をこえて、誓多林町の公衆トイレ上の八柱神社にて昼食。

その後、芳山の芳山二尊石仏を目指し、登山。人工林エリアを登り鹿避けの柵を通過し到着。奈良時代の作とされる阿弥陀如来の二尊の顔立ちの違いなどを確認、集合写真をとったのち、芳山を南峰を經由して下山した。その後、春日山石窟仏を見学したのち、高山神社を經由して滝坂の道を下山し、予定より30分程度遅れて到着。解散となった。

■写真



若草山山頂からの眺め



春日大社境内での解説



音を感じる体験



寝仏



朝日観音



苔の観察



苔仏の見学



柳生街道の崩落後地



峠の茶屋



昼食休憩



芳山の石仏



集合写真